

# 熊本市生涯学習に関するアンケート調査

## 報告書

平成30年2月



目次	ページ
1 調査概要	1
2 調査結果	2
(1) 生涯学習に関する現在の取組みについて	3
(2) 生涯学習に関する今後の取組みについて	9
(3) 公共施設の利用について	11
(4) 熊本市における生涯学習の推進について	13
(5) 自由意見	14
3 回答者属性	19
4 調査票	21



# 1 調査概要

## 調査の目的

市民の生涯学習への取組みの様子や要望(ニーズ)などを伺い、本市の生涯学習を推進するうえでの課題や、行政が行うべき役割を把握する。

## 調査対象者

20歳以上の市民から2,000人を無作為抽出

## 調査方法

郵送発送・郵送回収

## アンケート調査実施時期

平成30年2月

## 回収状況

配布数	回収数	回収率
2,000人	654件	32.7%

## 報告書利用上の注意

- 1 端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがある。
- 2 図表の構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入したものである。
- 3 複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合がある。
- 4 調査結果においては、前回調査との比較データとして、熊本市で平成20年2月に実施した「市民の生涯学習の実態及び今後の推進方策に関するアンケート調査」を使用している。
- 5 調査結果においては、熊本市民の特性を把握するための比較データとして一部、内閣府(政府広報室)が平成27年12月に実施した「教育・生涯学習に関する世論調査」(以下「全国調査」)を使用している。

## 2 調査結果

## (1) 生涯学習に関する現在の取組みについて

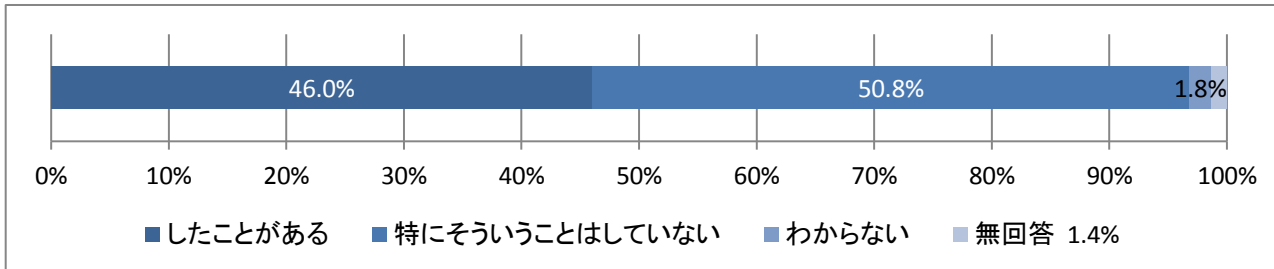
問1. あなたは、この1年くらいの中に、生涯学習をしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけをつけてください。

### 【調査結果】

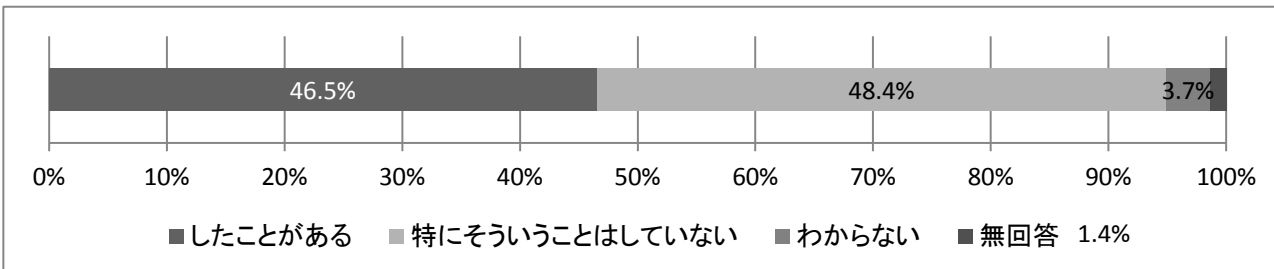
「したことがある」46.0%、「特にそういうことはしていない」50.8%と、「活動」派と「非活動」派がほぼ同数になっている。

「したことがある」を年齢別で見ると、20歳代63.3%で高い。なお、最も低い年齢別区分は30歳代38.2%で、この結果約25ポイントもの大きい差異が表れている。

全国調査では、「生涯学習をしたことがある」47.5%、「生涯学習をしたことがない」が52.3%となっている。



### 参考資料



市民の生涯学習の実態及び今後の推進方策に関するアンケート調査(平成20年2月)

	対象者(人)	したことがある	特にそういうことはない	わからない	無回答	
全体	654	301	332	12	9	
構成比	100%	46.0%	50.8%	1.8%	1.4%	
年齢別	20歳代	49	63.3%	34.7%	0.0%	2.0%
	30歳代	68	38.2%	60.3%	1.5%	0.0%
	40歳代	90	47.8%	50.0%	2.2%	0.0%
	50歳代	126	46.8%	47.6%	4.0%	1.6%
	60歳代	140	47.9%	50.7%	0.7%	0.7%
	70歳以上	176	41.5%	54.0%	1.7%	2.8%
	無回答	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
地域別	中央区	174	48.9%	46.6%	2.3%	2.3%
	東区	192	45.8%	52.1%	1.0%	1.0%
	西区	60	45.0%	51.7%	3.3%	0.0%
	南区	120	47.5%	50.8%	1.7%	0.0%
	北区	104	41.3%	53.8%	1.9%	2.9%
	無回答	4	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%

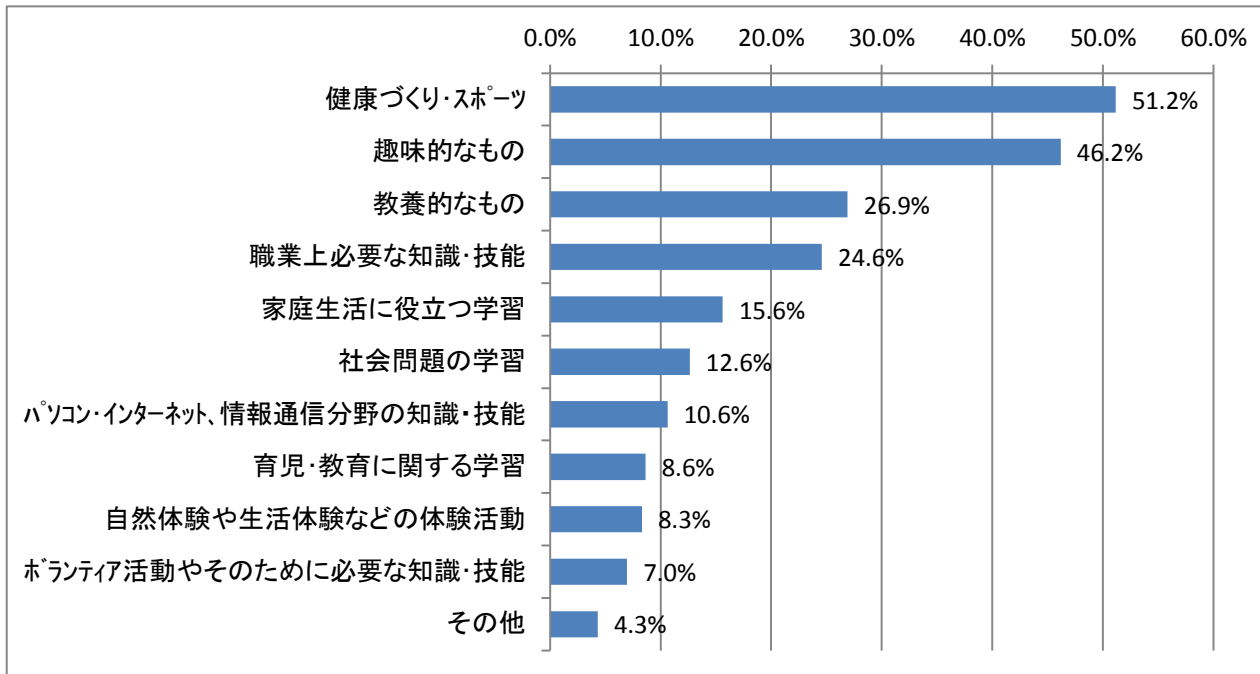
問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問2. この1年くらいの間に、あなたが行った生涯学習はどのようなものですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「健康づくり・スポーツ」51.2%、「趣味的なもの」46.2%の2項目が高く、「教養的なもの」26.9%、「職業上必要な知識・技能の習得」24.6%が同程度で続いている。

全国調査では、熊本市民と同じく「健康・スポーツ」21.0%、「趣味的なもの」18.8%の2項目が高いものの、「趣味的なもの」18.8%については27ポイントもの大きい差異が表れている。



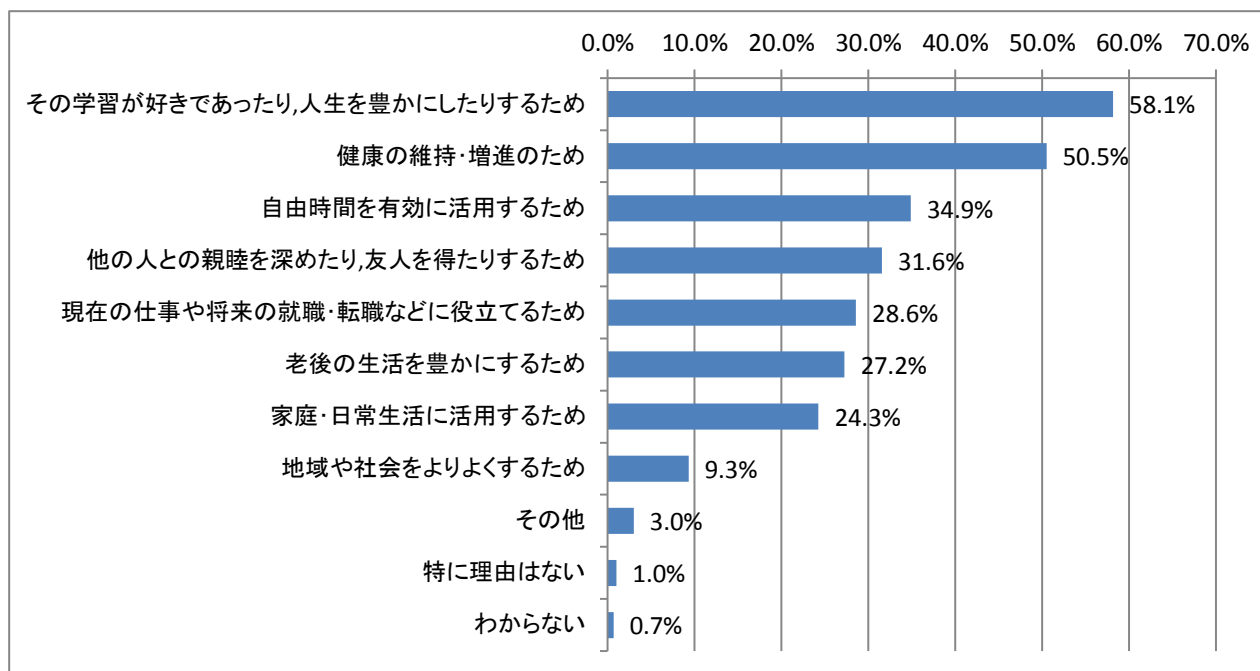
問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問3. 生涯学習をするようになった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため」58.1%、「健康の維持・増進のため」50.5%の2項目が高く、「自由時間を有効に活用するため」34.9%、「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」31.6%と続いている。

全国調査では、「その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため」54.8%、「健康の維持・増進のため」43.2%、「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」32.1%、「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」28.0%となっている。熊本市民では「自由時間を有効に活用するため」34.9%が上位に上がっている。





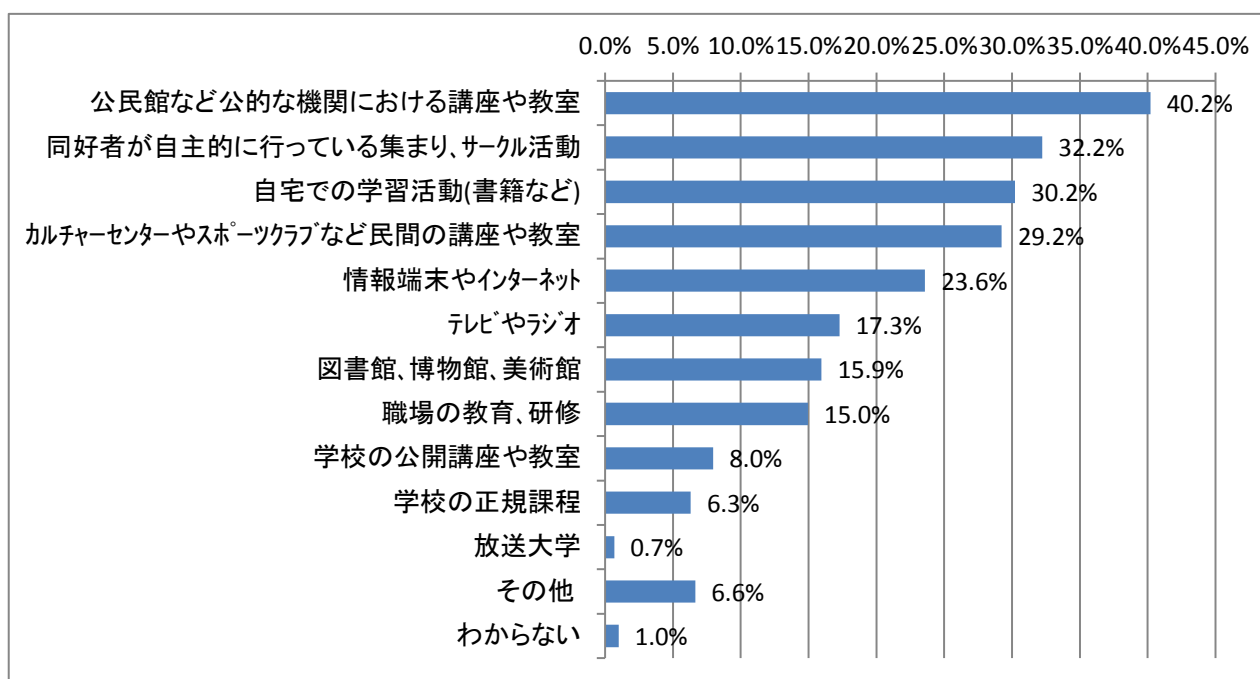
問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問4. あなたは、どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室」40.2%が最も多く、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」32.2%、「自宅での学習活動(書籍など)」30.2%、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育」29.2%と続いている。

全国調査では、「公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室」39.9%、「自宅での学習活動(書籍など)」31.3%、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」30.2%、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」29.6%となっており、熊本市民と同じ傾向を示している。



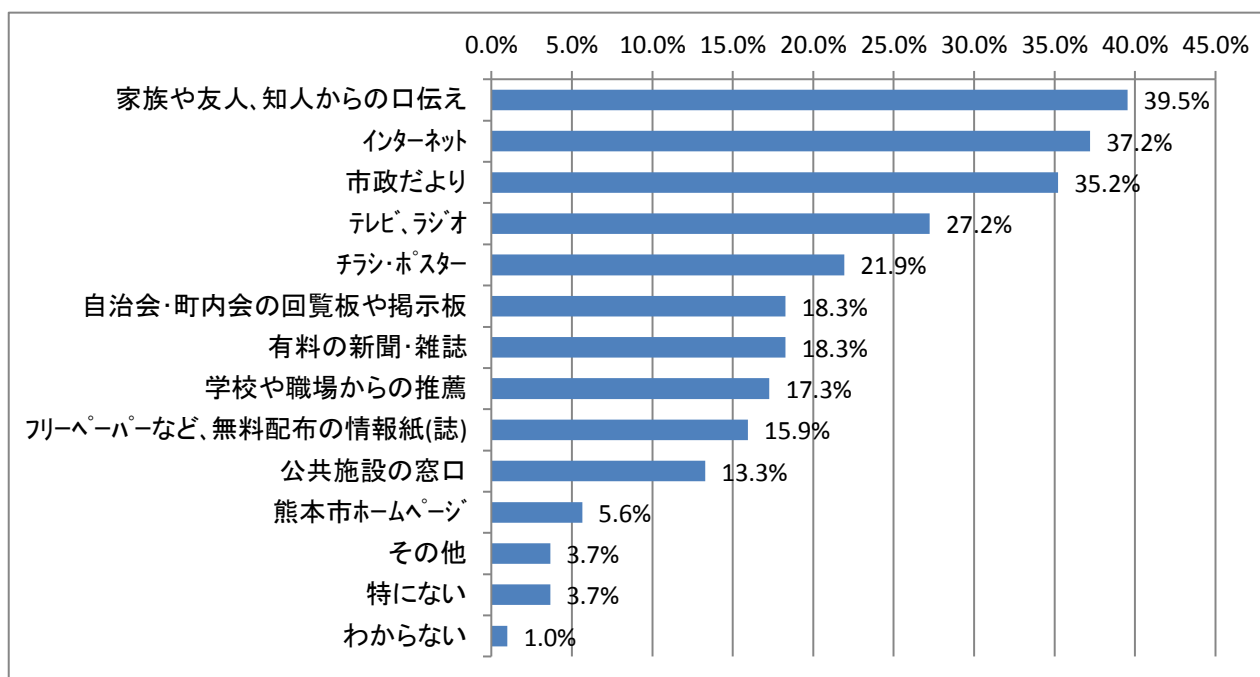
問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問5. 生涯学習に関する情報を何から入手していますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「家族や友人、知人からの口伝え」39.5%、「インターネット」37.2%、「市政だより」35.2%の3項目が高く、「テレビ・ラジオ」27.2%と続いている。

平成20年の調査では上位から、「市政だより」53.3%、「家族や友人、知人からの口伝え」45.1%、「チラシ・ポスター」33.3%、「テレビ・ラジオ」30.9%、「インターネット」25.6%となっており、インターネットの普及に伴う情報媒体の変化が伺える。



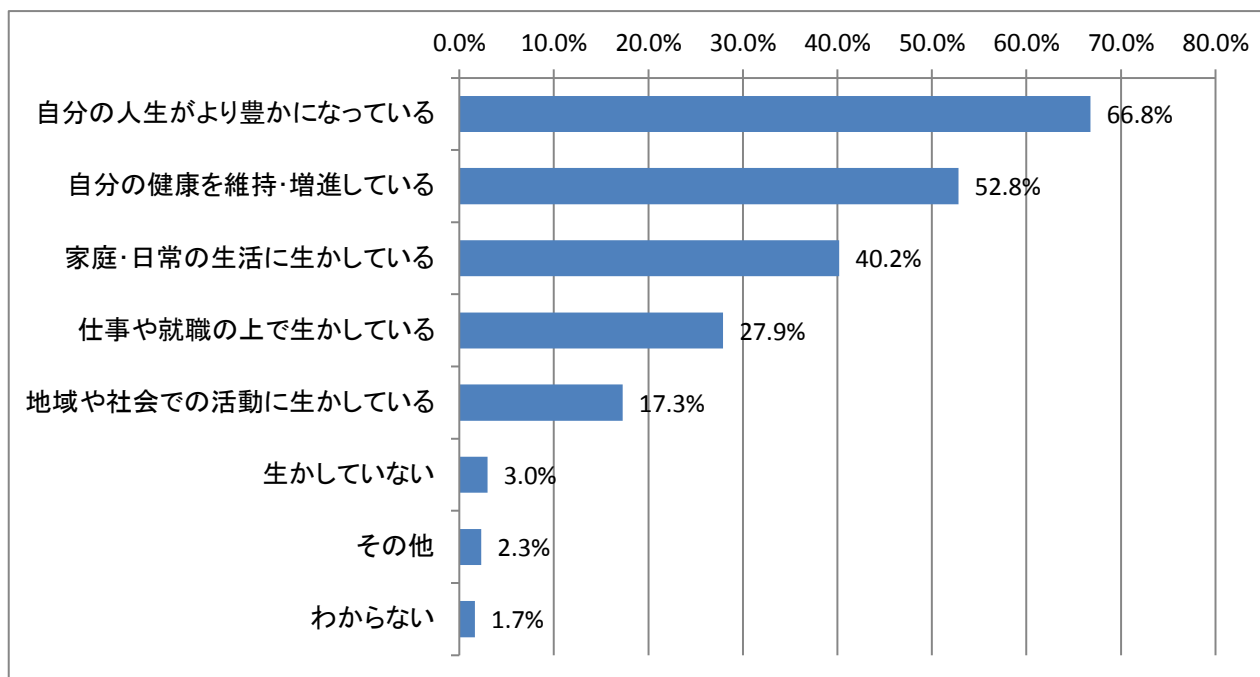
問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問6. あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「自分の人生がより豊かになっている」66.8%、「自分の健康を維持・増進している」52.8%、「家庭・日常生活に生かしている」40.2%となっている。

全国調査では、「自分の人生がより豊かになっている」52.1%となっており、熊本市民が約15ポイント高い。続いて、「自分の健康を維持・増進している」45.0%、「仕事や就職の上で生かしている」32.6%、「家庭・日常生活に生かしている」32.2%となっている。



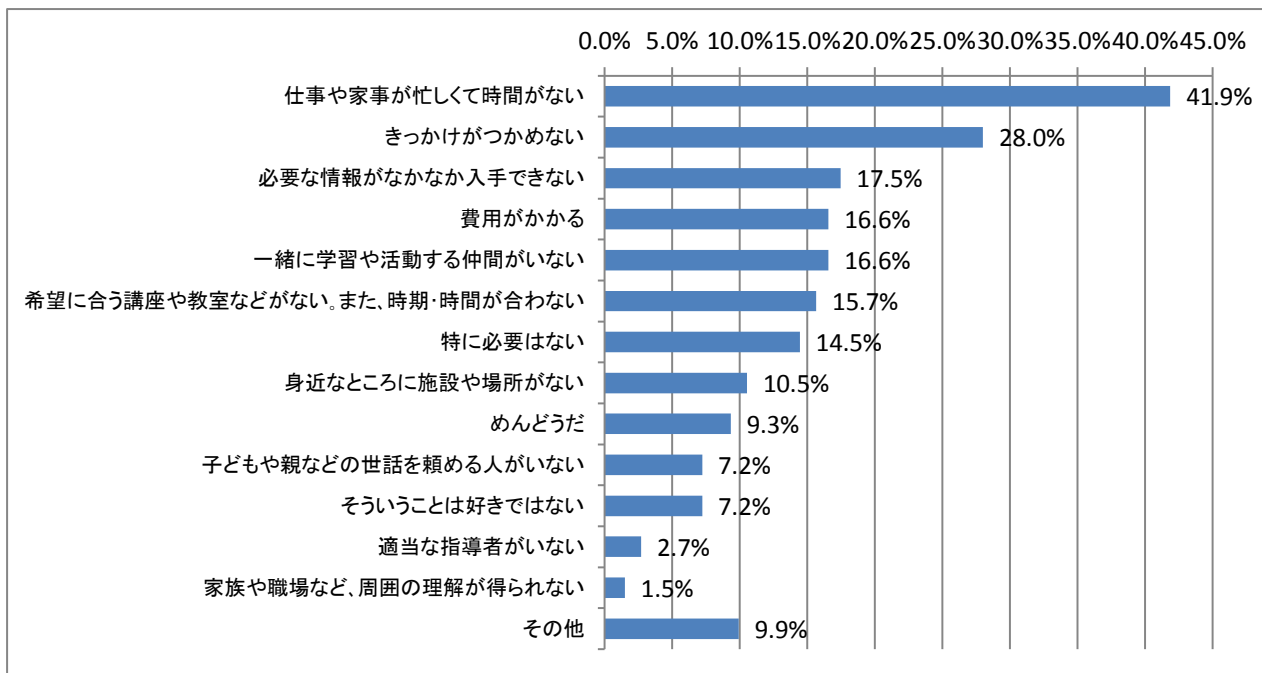
問1で「2. 特にそういうことはしていない」と答えた方にお尋ねします。

問7. それはどうしてですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

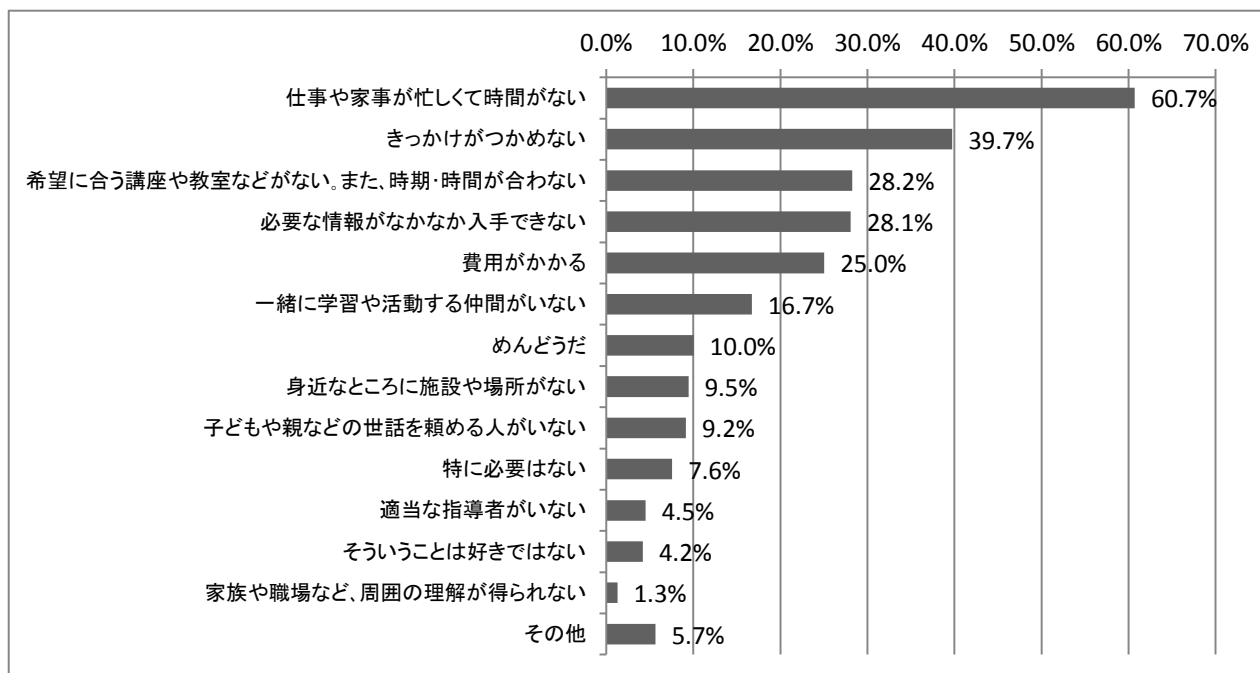
【調査結果】

「仕事や家事が忙しくて時間がない」41.9%がきわめて高く、以下、「きっかけがつかめない」28.0%、「必要な情報(内容・場所・時間・費用)がなかなか入手できない」17.5%である。

平成20年の調査での上位2項目も、「仕事や家事が忙しくて時間がない」60.7%、「きっかけがつかめない」39.7%である。しかし、続いて上位であった「希望に合う講座や教室がない。また、講座や教室などが行われる時期・時間が合わない」28.2%は、今回の調査では約13ポイント下がっている。



参考資料



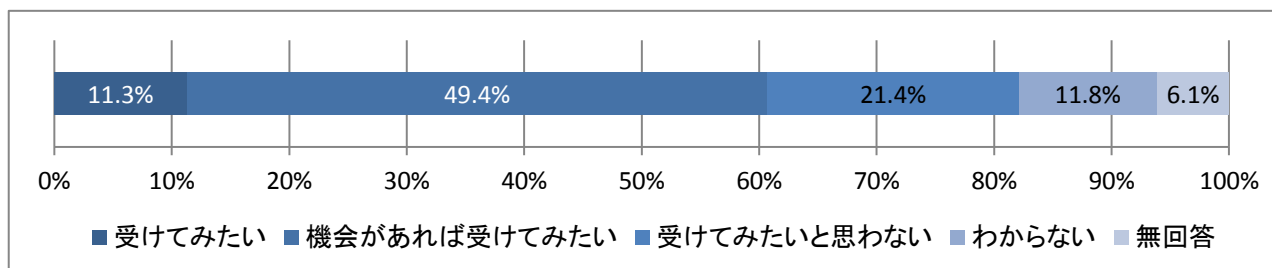
市民の生涯学習の実態及び今後の推進方策に関するアンケート調査(平成20年2月)

全員にお尋ねします。

問8. 最近、多くの大学、短期大学や高等専門学校、専修学校、各種学校、高等学校などで、一般市民を対象とした公開講座などが開催されていますが、あなたは、機会があれば、このような公開講座を受けてみたいと思いますか。最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

【調査結果】

「受けてみたい」11.3%、「機会があれば受けてみたい」49.4%と、合計約60%の人が公開講座受講の意向を持っている。



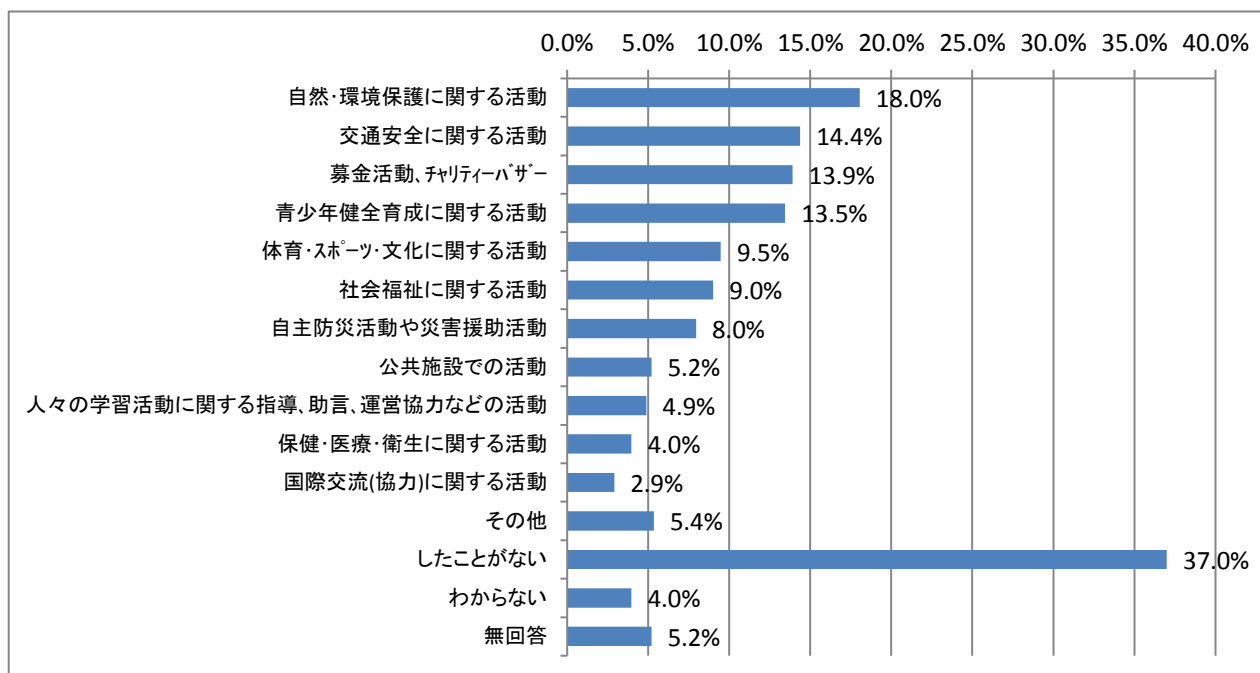
全員にお尋ねします。

問9. 生涯学習の成果を社会に生かす方法のひとつとして、ボランティア活動がありますが、あなたがこれまでに参加したことがあるボランティア活動はどのようなものですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「自然・環境保護に関する活動」18.0%、「交通安全に関する活動」14.4%、「募金活動、チャリティーバザー」13.9%、「青少年健全育成に関する活動」13.5%までの4項目が10%を超える活動率である。これに対し、「したことがない」は37.0%である。

平成20年の調査での「したことがない」は47.8%であり、今回の調査では約11ポイント下がっている。



## (2) 生涯学習に関する今後の取組みについて

全員にお尋ねします。

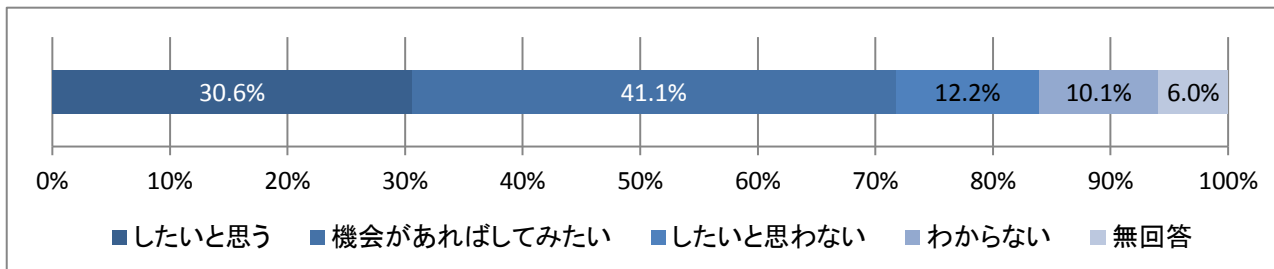
問10. あなたは、今後とも、あるいは今後、生涯学習をしたいと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

### 【調査結果】

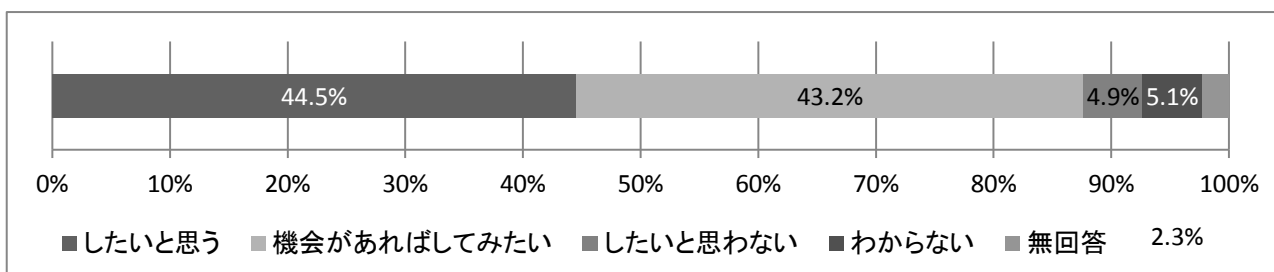
「したいと思う」30.6%、「機会があればしてみたい」41.1%と、合計71.7%の人が生涯学習の意向を持っている。これに対し、「したいと思わない」は12.2%である。

年齢別に、「したいと思う」をみると、20歳代42.9%と高く、70歳代以上22.2%が低い。「したいと思う」と「機会があればしてみたい」を合わせた数値は、50歳代まではおおむね80%で推移しているのに対し、60歳代69.3%、70歳代以上50.0%と大きく落ち込んでいる。

全国調査では、「生涯学習をしたいとは思わない」16.0%という結果となっている。



### 参考資料



市民の生涯学習の実態及び今後の推進方策に関するアンケート調査(平成20年2月)

	対象者(人)	したいと思う	機会があればしてみたい	したいと思わない	わからない	無回答	
全体	654	200	269	80	66	39	
構成比	100%	30.6%	41.1%	12.2%	10.1%	6.0%	
年齢別	20歳代	49	42.9%	42.9%	6.1%	6.1%	2.0%
	30歳代	68	26.5%	51.5%	8.8%	7.4%	5.9%
	40歳代	90	35.6%	53.3%	4.4%	4.4%	2.2%
	50歳代	126	34.9%	50.0%	4.0%	7.9%	3.2%
	60歳代	140	31.4%	37.9%	14.3%	12.1%	4.3%
	70歳以上	176	22.2%	27.8%	23.3%	14.8%	11.9%
	無回答	5	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%
地域別	中央区	174	33.3%	42.0%	12.6%	6.3%	5.7%
	東区	192	30.2%	42.2%	9.9%	9.4%	8.3%
	西区	60	31.7%	48.3%	8.3%	8.3%	3.3%
	南区	120	32.5%	36.7%	17.5%	10.0%	3.3%
	北区	104	24.0%	40.4%	11.5%	18.3%	5.8%
	無回答	4	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%

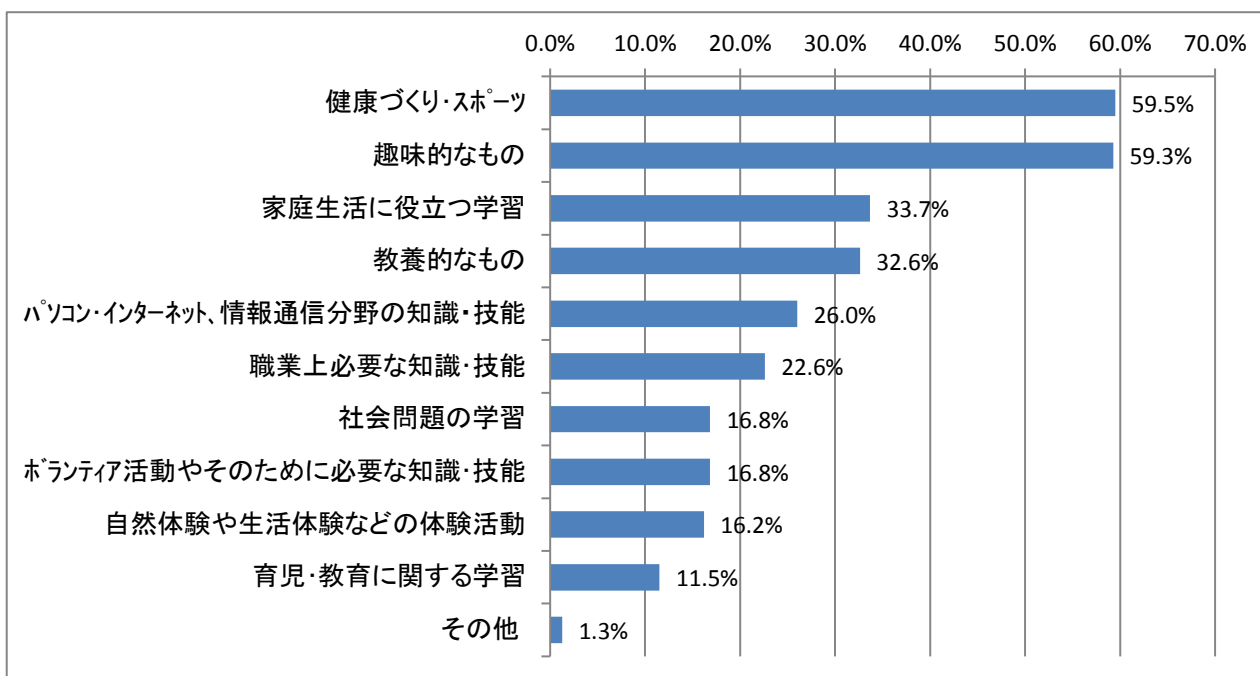
問10で「1. したいと思う」、「2. 機会があればしてみたい」と答えた方にお尋ねします。

問11. あなたは今後、どのような学習や活動をしたいですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「健康づくり・スポーツ」59.5%、「趣味的なもの」59.3%の2項目がきわめて高く、以下、「家庭生活に役立つ学習」33.7%、「教養的なもの」32.6%が同じくらいで続いている。

問2の実際に行っている生涯学習の内容や活動との比較では、「家庭生活に役立つ学習」15.6%が約18ポイント増の33.7%、「パソコン・インターネット、情報通信分野(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)の知識・技能」10.6%が約15ポイント増の26.0%となっている。



### (3) 公共施設の利用について

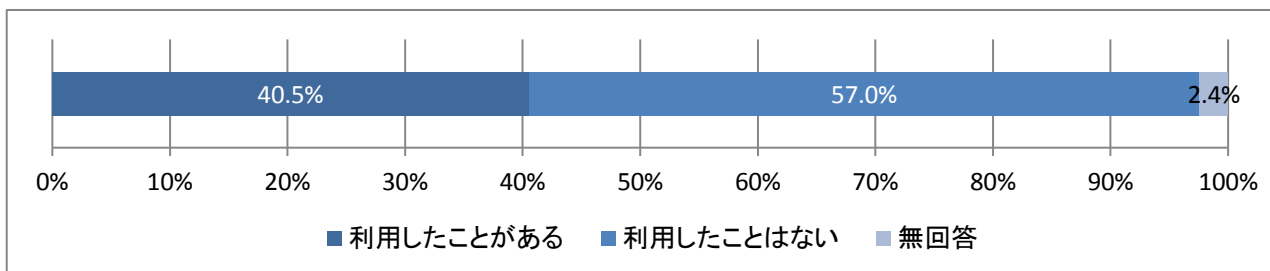
全員にお尋ねします。

問12. あなたはこの1年くらいの間に、熊本市内の公共施設を利用して、学習や活動をしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

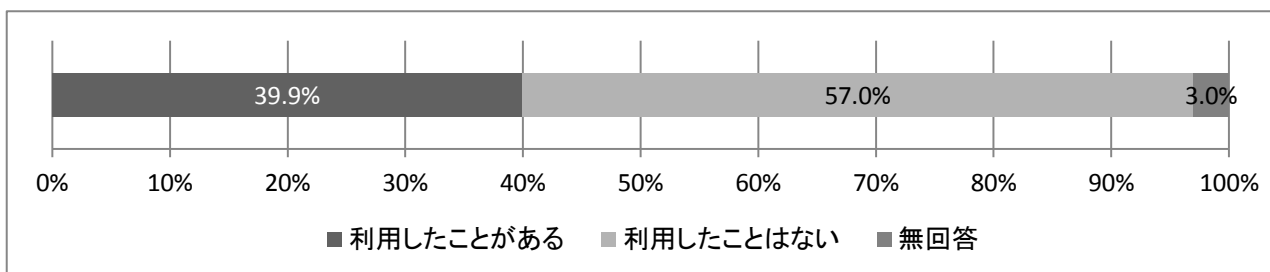
#### 【調査結果】

「利用したことがある」40.5%、「利用したことはない」57.0%という結果で、「非利用」派が約17ポイント上回っている。

年齢別に、「利用したことがある」をみると、20歳代49.0%、30歳代47.1%、40歳代46.7%、50歳代39.7%、60歳代39.3%、70歳以上34.1%と年齢が上がるにつれ利用状況は下がっている。



#### 参考資料



市民の生涯学習の実態及び今後の推進方策に関するアンケート調査(平成20年2月)

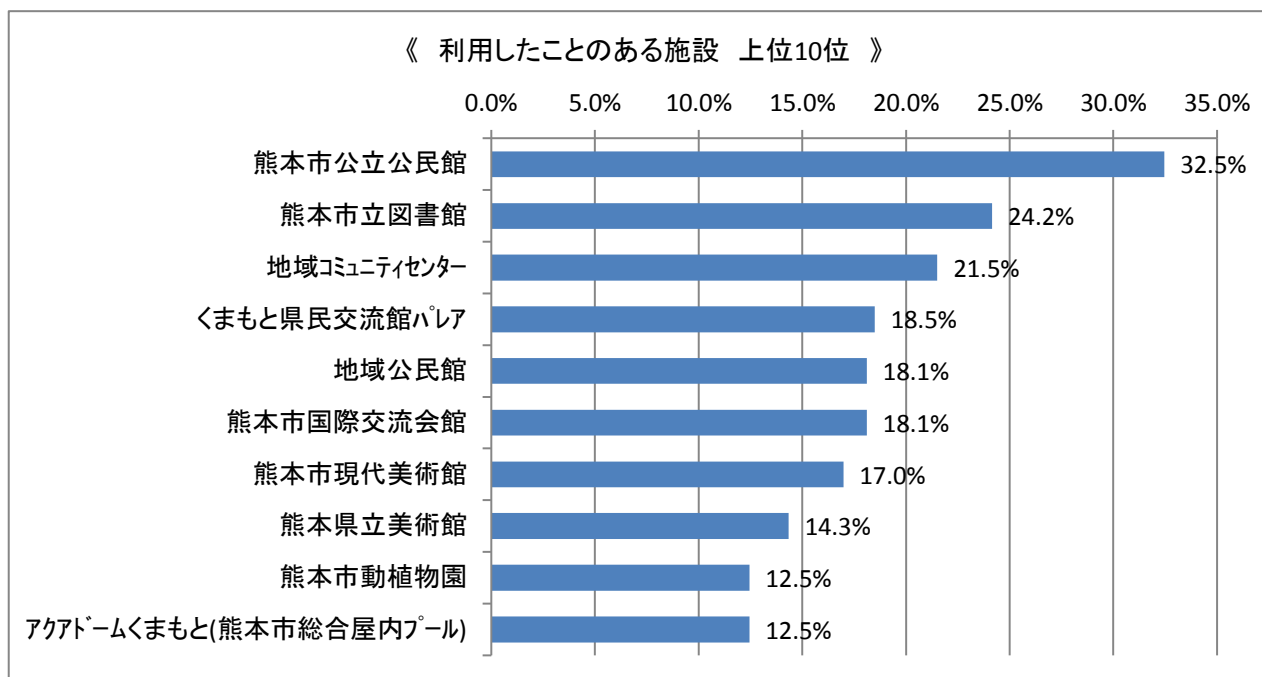
		対象者 (人)	利用 した こと が あ る	利 用 し た こ と は な い	無 回 答
全体		654	265	373	16
構成比		100%	40.5%	57.0%	2.4%
年齢別	20歳代	49	49.0%	46.9%	4.1%
	30歳代	68	47.1%	52.9%	0.0%
	40歳代	90	46.7%	51.1%	2.2%
	50歳代	126	39.7%	59.5%	0.8%
	60歳代	140	39.3%	60.0%	0.7%
	70歳以上	176	34.1%	60.2%	5.7%
	無回答	5	40.0%	60.0%	0.0%
	地域別	中央区	174	45.4%	51.1%
東区		192	40.1%	57.8%	2.1%
西区		60	43.3%	53.3%	3.3%
南区		120	38.3%	60.8%	0.8%
北区		104	34.6%	62.5%	2.9%
無回答		4	25.0%	75.0%	0.0%

問12で「1. 利用したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問13. あなたが学習や活動の際、利用した施設はどこですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「熊本市立公民館」32.5%が最も多く、以下、「熊本市立図書館」24.2%、「地域コミュニティセンター」21.5%までの3項目が20%を超える利用率となっている。「公民館」「図書館」と社会教育施設が上位に入っている。

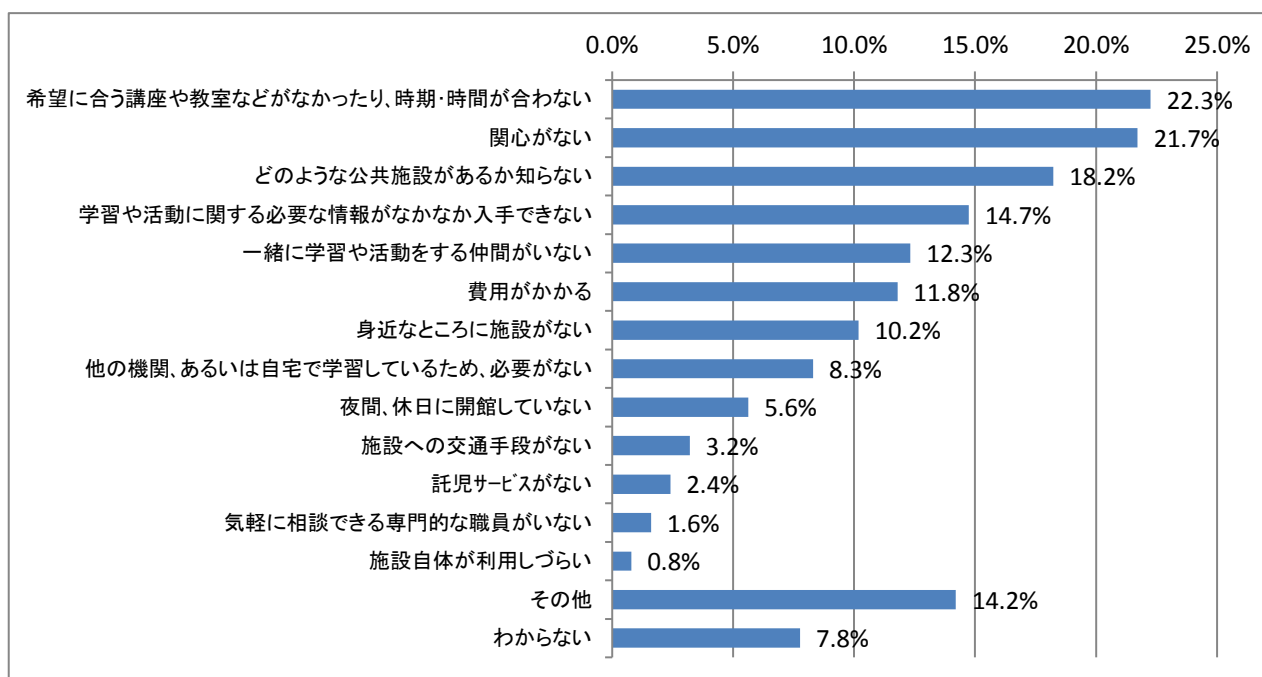


問12で「2. 利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。

問14. 利用したことがない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

【調査結果】

「希望に合う講座や教室などがなかったり、時期・時間が合わない」22.3%、それに続き、「関心がない」21.7%、「どのような公共施設があるか知らない」18.2%であった。以下、「学習や活動に関する必要な情報がなかなか入手できない」14.7%、「一緒に学習や活動をする仲間がいない」12.3%、「費用がかかる」11.8%、「身近なところに施設がない」10.2%と続いている。





## (4) 熊本市における生涯学習の推進について

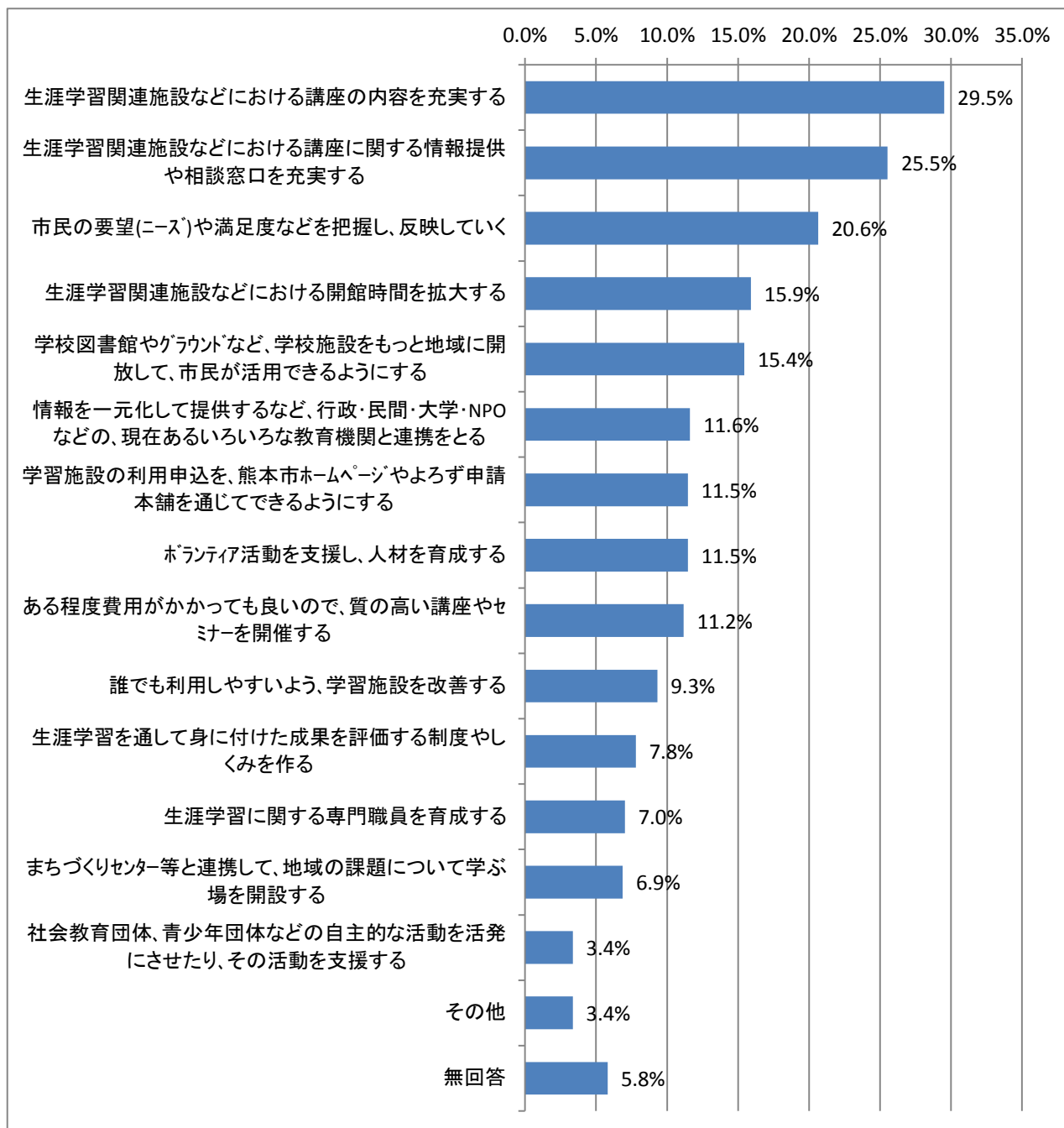
全員にお尋ねします。

問15. 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、熊本市は、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

### 【調査結果】

「生涯学習関連施設などにおける講座の内容を充実する」29.5%、「生涯学習関連施設などにおける講座に関する情報提供や相談窓口を充実する」25.5%、「市民の要望や満足度を把握し、反映していく」20.6%までの3項目が20%を超える要望である。以下、「生涯学習関連施設などにおける開館時間を拡大する」15.9%、「学校図書館やグラウンドなど、学校をもっと地域に開放して、市民が活用できるようにする」15.4%となっている。

全国調査では、選択肢が異なるため、参考ではあるが、「生涯学習のための施設の増加」40.6%、「仕事に関係のある知識の習得や資格取得などに対する経済的な支援」33.8%、「生涯学習に関する情報提供の充実」33.3%、「生涯学習を支援する人の育成や配置」32.2%、「労働時間の短縮や生涯学習活動のための休暇制度などの充実」29.5%、「情報端末やインターネットを使った生涯学習活動の充実」27.3%の6項目が20%を超える要望である。



## (4) 自由意見

### 学習や活動の情報に関すること

- 1 いつどこで、どのようなことをやっているという情報が入ってこない
- 2 やっていることをしっかり宣伝してほしい。熊本市がやっていることはほとんど知らない。
- 3 対象者やターゲット層に情報をもっと目に入りやすいように、店や学校等の施設へポスターやチラシ等を配布するとよいと思う
- 4 チラシやテレビCMなど一般的に取り入れやすい媒体があれば幅広く利用者が増え興味もわくと思います。
- 5 今いち生涯学習というものが自分に浸透していない事に気づいた。知らないうちに生涯学習をしている。もっと生涯学習が広まる様に情報を公開してほしい。これを機にもっと生涯学習を積極的に利用し、色々な事、興味のある事を学習できたらいいと思った。
- 6 PRや活動状況、結果など、みんなが参加したくなるような興味を抱かせるようなものに工夫してほしい。PRをもっとして。
- 7 生涯学習の魅力をもっとわかりやすく伝えて欲しいです。学習の内容の充実もとても大事だと思いますが、どういったことを学べるのか「目でわかる」方法でアピールして欲しいです。活字だけでは想像が難しくネットなどを利用して動画や写真等すぐ簡単に見えるともっと幅広い世代にも伝わるのではないのかなあとと思います。携帯電話が普及しているので色々な用途に活用できるのではないのでしょうか？
- 8 市政だよりのみならず多方面にて機会の周知を深めて広げていただきたい。
- 9 生涯学習に関する講座等、情報が入ってきにくいように思う。広く告知するよう新聞紙面に広告を載せたりTVCMで情報の提供をしていただきたい。
- 10 生涯学習のPRをもっと積極的にしてほしい。学習時間の拡大、仕事後も参加できるようなセミナーを開催、個別で参加出来る機会を増やしてほしい。
- 11 生涯学習がどこでやっているか、何があるのか全くわかりません。周知を徹底するとういと思っています。
- 12 新着情報が少ない(あまり活動的に見えない)ので、市内の学習に関する情報を目立つ所に配置して頻繁に発信して欲しい。
- 13 生涯学習はとても良いことですし、私も行いたいですが、現在は子育てに時間がとられて自分の時間が持てません。一般市民対象の公開講座はどこでどのようなものが開かれているのかも知りません。色々周知する方法を変えられてみるのも良いかもしれないと思います。
- 14 内容、情報提供をどうしたら知ることが出来るか？という点で、ホームページとかアクセスをするまで行わないと思うので、どこでなにげに「あっ」と気づける様なポスターなどが良いのでは？と思います。
- 15 学習する施設の場所、内容、時間等、何をみて情報を得るのかわからない。市政だより等公共発行物等で詳しい情報がほしい。

## 学習や活動の内容に関すること

- 1 子育てが終わったら、今までの子供の為に勉強してきたこと(障がい)を生かして悩んでいる人の役に立てるようになりたいから、その為に資格を取ろうと思った。
- 2 マネー講座、株、税金、家計やりくりなど
- 3 語学の学習の時はネイティブな方々との交流の場があればよいと思う(国際交流館etc)
- 4 市政だよりを見て参加してみたいと思う講座が自宅から遠かったりすることがあり、なかなか参加できずにいます。近くのところは同じような講座の繰り返しのような感じがします。発達障がい(支援の必要な子ども)も親子で参加できるような講座があると参加したいです。
- 5 市民がどんな講座を必要としているかアンケートなどを取る。講師を広く求める(自己でやりたい(いろんな)スキルを持っている人も多いはず)
- 6 趣味(音楽)、読書、工作等自由な活動で十分と思っています。また、友人との交流を楽しんでいます。
- 7 時間設定を増やして欲しい。一回完了の講座を充実させてほしい。
- 8 公開講座の意味が良くわからない。お花、茶道は以前からして、字が下手なので、コミュニティセンターが近くに出来たので大変ありがたい。
- 9 料理教室やペン習字教室などを安価で通いやすい時間で設置してほしいです。平日の昼以外も。
- 10 年齢区分別に市民の要望(ニーズ)や満足度などを継続して把握し、反映していくことが重要ではないでしょうか。
- 11 前はエアロビをやっていましたが、そういう講座がないのが残念です。同年代の方と話でできるのが、水泳、スポーツジム、エアロビです。ぜひ検討をお願いします。
- 12 WEBでも受講できるように。夜でも視聴、受講できるような仕組み。
- 13 地震の前月に熊本城ナイトツアーがあり、たいへんよい思い出となっております。他県からの旅行者向けに歴史探訪の企画が増えるとよいと思います。

## 生涯学習環境の整備充実に関すること

### ○学習環境に関すること

- 1 地震前はミニバレーをやっていたが、施設が使用できなくなり、使用出来る様になるのを待っています。
- 2 利用していた体育館が、改修工事のため
- 3 続けていたアクアビクス教室が休館になり体調が良くなりつつあったのに残念。出来るなら交通の便も良かったし時間もかからないので再開してほしい(五福公民館)
- 4 子どもと一緒に参加できるものや、子どもと一緒にでも安心して過ごせる環境の整備。
- 5 スポーツ施設の拡充について、現状、将来プラン等をもっと告知して下さい。
- 6 Walkingは事故の危険も少なく心身の健康の維持や推進に好適であるが、雁回山などは荒れ放題になっていた。他の低山はどうだろうか？立田山は農水省の遠隔団体が管理しているのでとてもよく整備されていた。

- 7 市政だよりの講座などチェックはしますが働いている人には少々参加できる時間の講座が限られていると感じます。計画運営されるのが大変かと思いますが「講座の期間(回数)がもう少し短いと参加できるか
- 8 託児システムを充実してほしい。
- 9 熊本県立大学の図書館を24時間開館するか、空調を充実させ、夜でも市民の方が勉強できる場を提供する。(駐車場が広いから)
- 10 交通の便を一番に考えます。近くに生涯学習の場所があると嬉しいのですが…出来れば小さな単位で学習の場を作って下さい。老いても自立して楽しく毎日を過ごせたらと思っています。お寺さんも参加してほしい。
- 11 歩いて行ける場所に図書館がなく、せめて車による移動図書館があればと思うことがある。でもこれは相当の負担を市にかける事になり、現実には無理だと諦め、どうしても読みたい本だけ購入することになっている。利用者数と市の負担額を考えると如何に無理な希望であるかが良く理解できる。
- 12 生活保護を受給していても習えるようにしてほしい。交通機関が悪いところもあるので、その場所までの交通手段も考えてほしい。
- 13 料理教室など、夜間帯や、土曜の昼、夕方、日曜日に働いている人でも行けるようにしてほしい。人気のある講座は、定員の数をもっと増やしたら多くの人が利用するのではないか。
- 14 バス等の公共交通機関でアクセスしやすくしてほしい。自家用車を持たない、利用者しない人々にも、より利便性の高い資源となって欲しい。
- 15 平日の夜、19:00～などあると良い
- 16 震災後利用できない施設有、修理等であいてない

#### **○学習成果の活用に関すること**

- 1 定年退職者が増えるなか、単に生涯学習を目的とするのではなく、豊富な人生経験と補完する生涯学習で身に着けたものを学校等で活用することができないか、教職員をサポート出来る能力を有しており大いに活用し、また、ボランティアでなく有償にして老後を金銭面でも豊かにして経済の活性化を図る必要があると思われる。
- 2 20～30歳代の人達が70歳以上の人々をささえて下さる時代。出来るだけ元気で社会貢献出来たらと望みますが具体的にはどうしたら良いのでしょうか。70歳以上で動線のない人々は身近に学習やボランティアの場を求めていると思います。
- 3 免許、資格を労働組合や資格の所属に作ってほしい。

#### **○民間、大学、地域との連携に関すること**

- 1 生涯学習は民間も取り組んでおり、民間活力を活用し、民間と連携した取り組みが必要と感じます。
- 2 指定管理者など民間をもっと利用する
- 3 まちづくりセンターを周知し様々な方と協力して地域の盛り上がりにつないでいくと良いと思います
- 4 生涯学習の専門職員が高齢者施設で講座を聞く。
- 5 企業と提携し生涯学習の利用に応じて企業を評価し宣伝公表する。人を動かせる組織のトップを積極的に活動に参加させる。またニーズに応じて外部から人材を応援してもらう。

## 生涯学習全般へのご意見(複数の内容にまたがるご回答)

- 1 生涯学習の中から重点的に支援していく活動の選定については①豊かな地域づくり等の社会貢献②自らの生活向上など様々な評価が考えられる。選定に当たっては市民が納得のいく容かん敵な評価をお願いします。
- 2 講座を開講したり、その講座を一回限りの参加で終わらせないよう、NPOなどの受皿を作り継続的に会員にし、続けていくことが必要だと思う。そのためには場所の確保が必要だが現状はなかなか難しい。
- 3 民間への委託とPR活動を有用活用して費用対効果を明確にする。より全員がという考え方ではなく、望んでいる人員及び必要としている人員に対しての活用を推進していただきたい。かつきちんとプロジェクトとして費用対効果を明確にして実施していただきたい。
- 4 今のところ自分自身は関心はないが必要としたり、してみたいと思う人はいると思うので推進はかまわない。税金の無駄使いにならないければ、「生涯学習」という言葉はピンとこない。正しく意味をわかっている人は少ないような気がする。
- 5 年齢、施設時間、費用等これから色々な問題を解決しなければ進めないかと思えます。また日本人のボランティアに対する考え等、文化歴史の違いもあると思えます。そんな一つ一つを解決されて、生涯学習都市くまもとの実現を図って下さい。
- 6 公共の生涯学習は、未経験の人がおためしの場としての窓口であればいいと思う。やってみてもっと深めて行きたい人は専門の教室にそれなりの料金を払って通うのがいい。市が市民の為にお金を使うのはそこまでが良い。市はもっと大事な事にお金を使うべき。
- 7 仕事や育児をしていても家庭や職場で使える資格取得のための講座があるといいなと思えます。出向いて行くのは中々きびしい所もあるので、たまに足を運び家でも空いてる時間を利用しながらという感じが理想です。
- 8 「生涯学習」は定年退職された方(時間とお金に余裕がある)がするイメージがあるので、自ら学んでいくことは(いつでもしていい)大切なのではないかというメッセージがあってもいいのではないかと考えました。

## その他のご意見

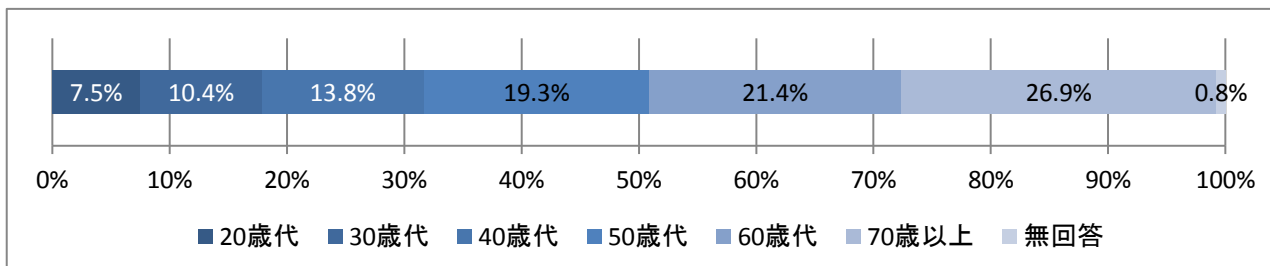
- 1 手続を簡単にして欲しい。
- 2 人生ずっと勉強すれば必ず結果がでます。努力が必要です。好きな事は苦になりません。
- 3 熊本地震でみなし仮設暮らし。精神的なゆとりがない。
- 4 被災後で、精神的にゆとりがない
- 5 生涯学習推進の市の予算や施策経費があれば子育て、育児等へ組み替えて執行していただき次世代の負担を少なくしていただきたいと思えます。
- 6 高齢者(特に70歳以上)の健康寿命を長くするための一環として市内にあるスポーツクラブ、プール等に通う者に対して費用の一部負担をお願いできるものであれば大変有難いと思えます。私も80歳を超え、寝たきりで平均寿命が延びるのではなく健康寿命を延ばすために毎日民間のプールでウォーキングに励んでいます。熊本市民の健康増進、ひいては医療費削減の為にもご一考願えれば幸いです。
- 7 これからは老人が多くなる一方、ひきこもりのない、老人同士が学び合い、声を掛け合い、バスや電車を利用し出かける、喫茶店へ行くと老人がいる、街へ出かけると誰かに会う、老人がこの熊本を支える、どこへ行っても老人が生き生きと生きて若い人を助ける世の中ならいいですね。経済も大いに活用できるのではないのでしょうか。

- 8 公民館をもっと開かれた場所として活用できるよう利用者と職員のコミュニケーションについて、工夫見直しが必要な気がします。高齢者とのよりよい関わり方を考えると事務的な対応に徹しては円滑にはいかないように思います。”人”対”人”の関係を大切にしたいものです。
- 9 たまには原点回帰してみたらいかがですか？
- 10 今まで仕事中心で忙しくて興味はあってもなかなか出来なかった。中央区にどれくらいの施設があるのかすら知らないので、調べてみようと思いました。これから高齢化していくので自分の足で行ける場所であればやりたいと思う。熊本市のホームページにあるのかな？(生涯学習について関連する)
- 11 本人各自の興味と意欲さえあれば、身近にあらゆる選択肢が用意されていることは素晴らしいと思います。又、それを活用しないのはもったいないことです。現在のままでも十分に機会を与えていただいていると思いますので、知人にも広く推進していきたいです。
- 12 子どもと参加できるイベントなどあれば興味あります。英語のレッスンや国際交流など。
- 13 生涯学習には生活の余裕が必要であると思う。また時間も必要であり。成人もしくは高齢者がこれを行うには生活基盤と身体的な基盤がなければ、学習どころではない。人材不足と各納付(税金・保険料)で地方(熊本市)の市民の生活は苦しい。なぜ生活の一部(生涯学習)にばかり取り上げるのか。これを聞く前に生活がどうであるかを聞いて欲しい。年間に何十万円もの健康保険料を払い、市民税に追われ、介護問題をかかえ、教育費に追われる市民において、生活の安定と安心が自己がめざす生涯学習に続くと思う。市民の片側だけ調査しても難しいと思う。
- 14 市民が余裕のある生活ができることに力を入れるべき。よくやっていると思います。
- 15 「STREET ART-PLEX KUMAMOTO」は毎年楽しみにしています。昨年5月に行ったARTと音楽のコラボ、良かったですよ。
- 16 学びたい講座があっても費用が高くあきらめなければいけない時があるので、費用を助成してもらえる制度があると助かります。
- 17 生活だけで精一杯の方もおられるが、精神的つながりや人生の充実を求める人もいると思うので、どちらの要望にも目を向けていくことは大切だと感じる。
- 18 熊本市が各種ボランティアを職員の部下のような意識で活動させることはやめていただきたいと思います。職員の専門職として質の向上、学習が必要と感ずます。その上で職員がカバーできない部分はボランティアを募って協働の形で行うのが常識です。丸投げになっている所があります。
- 19 他県に比べて熊本は生涯学習が進んでおり、公民館やコミセンの学習を多く受講して感謝しています。以前に比べ公民館での音譜の楽譜等のコピーをしてもらえなくなり大変不自由に感じています。
- 20 学習に関する情報と機会は選り取り見取りであるが、70超の高齢者にとっては、学習というより廃品回収や清掃などの軽作業を通じて地域での老若男女が顔見知りになることが大切である。
- 21 利用時間に柔軟性を…特に午後、夜間の時間帯の両方に利用時間が重なる場合、費用が発生する時が負担になる。

### 3 回答者属性

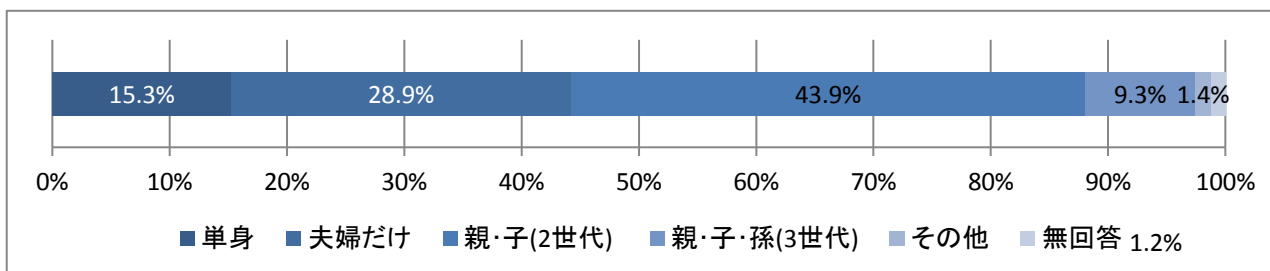
#### ア) 年齢

	対象者 (人)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無 回 答
全体	654	49	68	90	126	140	176	5
構成比	100%	7.5%	10.4%	13.8%	19.3%	21.4%	26.9%	0.8%

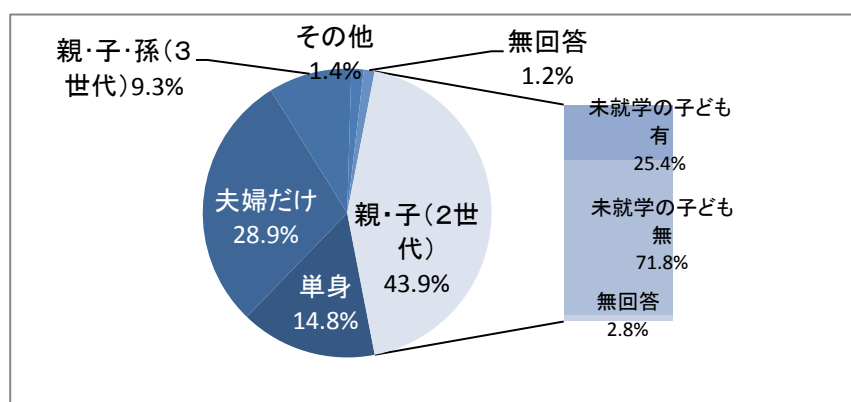


#### イ) 世帯構成

	対象者 (人)	単 身	夫 婦 だ け	親・ 子 (2 世 代)	親・ 子・ 孫 (3 世 代)	そ の 他	無 回 答
全体	654	100	189	287	61	9	8
構成比	100%	15.3%	28.9%	43.9%	9.3%	1.4%	1.2%

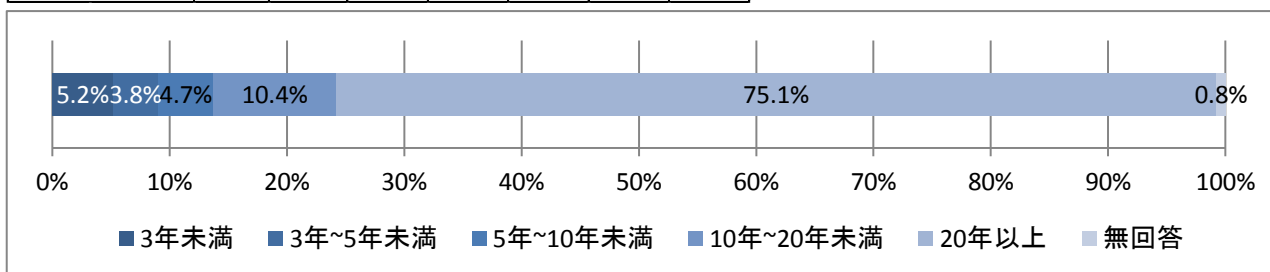


#### 世帯構成のうち未就学児の子どもの有無



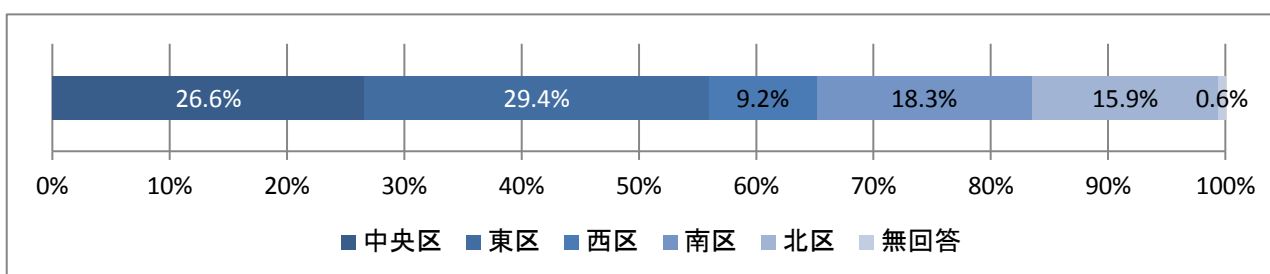
ウ) 居住年数

	対象者 (人)	3 年 未 満	3 年 5 年 未 満	5 年 5 1 0 年 未 満	1 0 年 5 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上	無 回 答
全体	654	34	25	31	68	491	5
構成比	100%	5.2%	3.8%	4.7%	10.4%	75.1%	0.8%



エ) 居住地

	対象者 (人)	中央 区	東 区	西 区	南 区	北 区	無 回 答
全体	654	174	192	60	120	104	4
構成比	100%	26.6%	29.4%	9.2%	18.3%	15.9%	0.6%





# 生涯学習に関するアンケート調査票

## I 生涯学習に関する現在の取組みについてお聞きします。

「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

当てはまる項目の番号に○を記入ください。

問1. あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. したことがある……………問2へお進みください
2. 特にそういうことはしていない……………問7へお進みください(4ページ)
3. わからない……………問8へお進みください(4ページ)

問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問2. この1年くらいの間に、あなたが行った生涯学習はどのようなものですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 趣味的なもの(音楽、美術、生け花、舞踊、書道など)
2. 教養的なもの(文学、歴史、語学、科学など)
3. 社会問題(社会・時事問題、国際問題、環境問題など)の学習
4. 健康づくり・スポーツ(健康法、医学、美容、栄養、水泳、ダンス、体操など)
5. 家庭生活に役立つ学習(料理、裁縫、編み物など)
6. 育児・教育(家庭教育、幼児教育・教育問題など)に関する学習
7. 職業上必要な知識・技能(仕事に関連した資格取得など)
8. パソコン・インターネット、情報通信分野(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)の知識・技能
9. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能(手話、点訳、介護など)
10. 自然体験や生活体験などの体験活動(キャンプ・登山・ハイキングなど)
11. その他 ( )

問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問3. 生涯学習をするようになった理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため
2. 家庭・日常生活に活用するため
3. 自由時間を有効に活用するため
4. 健康の維持・増進のため
5. 他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため
6. 現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため
7. 地域や社会をよりよくするため
8. 老後の生活を豊かにするため
9. その他 ( )
10. 特に理由はない
11. わからない

問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問4. あなたは、どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育
3. 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室
4. 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程
5. 職場の教育、研修
6. 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動
7. 図書館、博物館、美術館
8. テレビやラジオ
9. 情報端末やインターネット
10. 自宅での学習活動(書籍など)
11. 放送大学
12. その他 ( )
13. わからない

問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問5. 生涯学習に関する情報を何から入手していますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. テレビ、ラジオ
2. チラシ・ポスター
3. フリーペーパーなど、無料配布の情報紙(誌)
4. インターネット
5. 市政だより
6. 熊本市ホームページ
7. 公共施設の窓口
8. 自治会・町内会の回覧板や掲示板
9. 家族や友人、知人からの口伝え
10. 学校や職場からの推薦(機関誌、掲示板、パンフレットなども含む)
11. 有料の新聞・雑誌
12. その他 ( )
13. 特にない
14. わからない

問1で「1. したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問6. あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 自分の人生がより豊かになっている
2. 家庭・日常の生活に生かしている
3. 自分の健康を維持・増進している
4. 仕事や就職の上で生かしている(仕事で役立つスキルや資格を身につけた、給与面で優遇を受けた、就職活動に役立ったなど)
5. 地域や社会での活動に生かしている(学習、スポーツ、文化活動などの指導やボランティア活動など)
6. その他 ( )
7. 生かしていない
8. わからない

問1で「2. 特にそういうことはしていない」と答えた方にお尋ねします。

問7. それはどうしてですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 仕事や家事が忙しくて時間がない
2. 子どもや親などの世話を頼める人がいない
3. 費用がかかる
4. 必要な情報(内容・場所・時間・費用)がなかなか入手できない
5. 一緒に学習や活動する仲間がいない
6. 適当な指導者がいない
7. 身近なところに施設や場所がない
8. 希望に合う講座や教室などが無い。また、講座や教室などが行われる時期・時間が合わない
9. 家族や職場など、周囲の理解が得られない
10. きっかけがつかめない
11. めんどろだ
12. そういうことは好きではない
13. 特に必要はない
14. その他 ( )

全員にお尋ねします。

問8. 最近、多くの大学、短期大学や高等専門学校、専修学校、各種学校、高等学校などで、一般市民を対象とした公開講座などが開催されていますが、あなたは、機会があれば、このような公開講座を受けてみたいと思いますか。最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. 受けてみたい
2. 機会があれば受けてみたい
3. 受けてみたいと思わない
4. わからない

全員にお尋ねします。

問9. 生涯学習の成果を社会に生かす方法のひとつとして、ボランティア活動がありますが、あなたがこれまでに参加したことのあるボランティア活動はどのようなものですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 公共施設での活動(公民館における託児、博物館の展示説明員など)
2. 青少年健全育成に関する活動(子ども会、ボーイスカウト・ガールスカウト活動など)
3. 体育・スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・レクリエーション指導、学校でのクラブ活動の指導など)
4. 人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など)
5. 自然・環境保護に関する活動(環境美化、リサイクル活動など)
6. 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、技術援助、留学生援助など)
7. 社会福祉に関する活動(高齢者や障がい者などに対する介護、給食、保育など)
8. 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティアなど)
9. 交通安全に関する活動(子どもの登下校時の安全監視など)
10. 自主防災活動や災害援助活動
11. 募金活動、チャリティーバザー
12. その他 ( )
13. したことがない
14. わからない

## Ⅱ 生涯学習に関する今後の取組みについてお聞きします。

全員にお尋ねします。

問10. あなたは、今後とも、あるいは今後、生涯学習をしたいと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. したいと思う……………問11へお進みください
2. 機会があればしてみたい……………問11へお進みください
3. したいと思わない……………問12へお進みください(7ページ)
4. わからない……………問12へお進みください(7ページ)

問10で「1. したいと思う」、「2. 機会があればしてみたい」と答えた方にお尋ねします。

問11. あなたは今後、どのような学習や活動をしたいですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 趣味的なもの(音楽、美術、生け花、舞踊、書道など)
2. 教養的なもの(文学、歴史、語学、科学など)
3. 社会問題(社会・時事問題、国際問題、環境問題など)の学習
4. 健康づくり・スポーツ(健康法、医学、美容、栄養、水泳など)
5. 家庭生活に役立つ学習(料理、裁縫、編み物など)
6. 育児・教育(家庭教育、幼児教育・教育問題など)に関する学習
7. 職業上必要な知識・技能(仕事に関連した資格取得など)
8. パソコン・インターネット、情報通信分野(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)の知識・技能
9. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能(手話、点訳、介護など)
10. 自然体験や生活体験などの体験活動(キャンプ・登山・ハイキングなど)
11. その他 ( )

### Ⅲ 公共施設の利用についてお聞きします。

全員にお尋ねします。

問12. あなたはこの1年くらいの間に、熊本市内の公共施設を利用して、学習や活動をしたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用したことがある……………問13へお進みください
2. 利用したことはない……………問14へお進みください(8ページ)

問12で「1. 利用したことがある」と答えた方にお尋ねします。

問13. あなたが学習や活動の際、利用した施設はどこですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

- |  |  |
|--|--|
| 1. 熊本市公立公民館<br>〔 大江、五福、東部、託麻、秋津、西部、花園、河内、南部、幸田、飽田、天明、富合、城南、龍田、清水、北部(西里、北部東)、植木 〕 | 22. 熊本市国際交流会館                                  |
| 2. 地域公民館   | 23. 子育て支援センター                                  |
| 3. 地域コミュニティセンター  | 24. 夢もやい館                                      |
| 4. くまもと県民交流館パレア  | 25. 母子・父子福祉センター                                |
| 5. 熊本市立図書館   | 26. 熊本市教育センター                                  |
| 6. 熊本県立図書館/くまもと文学・歴史館  | 27. 老人憩の家                                      |
| 7. 熊本市現代美術館  | 28. 介護予防支援施設<br>〔 お達者文化会館、南部万青年会館、東部はつらつ交流会館 〕 |
| 8. 熊本県立美術館   | 29. 高齢者技能取得センター                                |
| 9. 森林学習館   | 30. 老人福祉センター                                   |
| 10. 熊本市動植物園  | 31. 高齢者生きがい作業所                                 |
| 11. 食品交流会館(フードパル熊本内)   | 32. 障がい者福祉センター希望荘(別館)                          |
| 12. 子ども文化会館  | 33. 環境総合センター                                   |
| 13. 熊本市立金峰山少年自然の家  | 34. 動物愛護センター                                   |
| 14. 熊本市総合体育館・青年会館  | 35. 消費者センター                                    |
| 15. 浜線健康パーク(田迎公園運動施設)  | 36. 男女共同参画センターはあもにい                            |
| 16. 南部総合スポーツセンター   | 37. 市民活動支援センター・あいぽーと                           |
| 17. 託麻スポーツセンター   | 38. 勤労青少年ホーム                                   |
| 18. アクアドームくまもと(熊本市総合屋内プール)   | 39. 勤労者福祉センター(サンライフ熊本)                         |
| 19. 熊本市水の科学館   | 40. 職業訓練センター                                   |
| 20. ふれあい文化センター   | 41. その他 ( )                                    |
| 21. 記念館<br>〔 夏目漱石内坪井旧居、徳富記念園、小泉八雲熊本旧居、御馬下の角小屋、後藤是山記念館 〕                          | 42. わからない                                      |

問12で「2. 利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。

問14. 利用したことがない理由は何ですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 身近なところに施設がない
2. 夜間、休日に開館していない
3. 費用がかかる
4. 託児サービスがない
5. 施設自体が利用しづらい(手すりやスロープがない など)
6. 学習や活動に関する必要な情報(内容・時間・場所・費用)がなかなか入手できない
7. 一緒に学習や活動をする仲間がいない
8. 気軽に相談できる専門的な職員がいない
9. 自分の希望に合う講座や教室などがなかったり、講座や教室などが行われる時期・時間が合わない
10. 他の機関、あるいは自宅で学習しているため、利用する必要がない
11. 施設への交通手段がない
12. 関心がない
13. どのような公共施設があるか知らない
14. その他 ( )
15. わからない




## IV 熊本市における生涯学習の推進についてお聞きします。

全員にお尋ねします。

問15. 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくために、熊本市は、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

1. 生涯学習関連施設などにおける講座の内容を充実する
2. 生涯学習関連施設などにおける開館時間を拡大する
3. 生涯学習関連施設などにおける講座に関する情報提供や相談窓口を充実する
4. 生涯学習に関する専門職員(社会教育主事、司書、学芸員、体育指導者など)を育成する
5. 情報を一元化して提供するなど、行政・民間・大学・NPO(民間非営利団体)などの、現在あるいろいろな教育機関と連携をとる
6. 学習施設の利用申込を、熊本市ホームページやよろず申請本舗を通じてできるようにする
7. 学校図書館やグラウンドなど、学校施設をもっと地域に開放して、市民が活用できるようにする
8. 誰でも利用しやすいよう、学習施設を改善する(手すりやスロープの設置など)
9. ある程度費用がかかっても良いので、質の高い講座やセミナーを開催する
10. 市民の要望(ニーズ)や満足度などを把握し、反映していく
11. 社会教育団体、青少年団体などの自主的な活動を活発にさせたり、その活動を支援する
12. 生涯学習を通して身に付けた成果を評価する制度やしきみを作る(単位認定、表彰、指導者登録など)
13. ボランティア活動を支援し、人材を育成する
14. まちづくりセンター等と連携して、地域の課題について学ぶ場を開設する
15. その他 ( )
16. 特にない
17. わからない

問16. 熊本市の生涯学習の推進について、ご意見がありましたら自由にお書きください。



裏面に続く

## V フェイスシート

以下の質問は、ご回答を統計的に分析するために必要ですので、あなたご自身のことについて伺います。

問17. 平成30年1月1日時点のあなたの年齢を教えてください。

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳代
6. 70歳以上

問18. あなたの世帯構成を教えてください。

1. 単身
2. 夫婦だけ
3. 親・子(2世代) 未就学の子どもの有無(有・無)
4. 親・子・孫(3世代) 未就学の子どもの有無(有・無)
5. その他 ( )

問19. あなたは熊本市に住んでどれくらいになりますか。

1. 3年未満
2. 3年～5年未満
3. 5年～10年未満
4. 10年～20年未満
5. 20年以上

問20. あなたのお住まいの地区を教えてください。

1. 中央区
2. 東区
3. 西区
4. 南区
5. 北区

ご協力ありがとうございました。